

創業者の横顔

- 橋本貴士

創業者、橋本貴士は20歳代には建築塗装の仕事につき、大きな建設現場の番頭として、富士製鉄広畑工場、神戸製鋼明石工場の増築工事に関係し、鉄骨塗装で高さ50mの足場を走り回り？ペンキまみれで飯場生活をしていました。

30歳になると名古屋に流れて広告代理店、運転手、運送会社事務員、と流れまくりの生活をしました。

40才になって、覚えた仕事で広告代理店を陸運局の許可を取って運送会社にリストラクチャリング(事業内容の変革)して現在の商都通信となりました。

- 橋本春子

春子会長は、社長と20歳から行動を共にし、苦しいことばかりの生活に愚痴も言わずに内職、もらったばかりの免許証と地図を片手に陸運局までのお使いそして時には広告の集金へと……正に内助の功でありました。

40才からは自宅での運送業を自分なりに努力もして、理解をして現在は、適切な助言で会社の経営に寄与しています。

